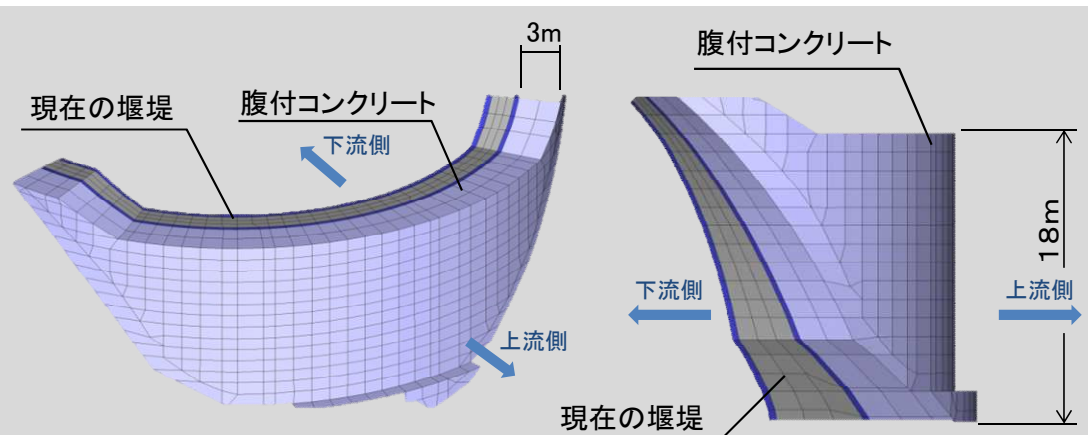


大源太川第1号砂防堰堤の補強対策

- 補強対策は、登録有形文化財としての価値（外観や歴史的意義など）や、観光拠点としての役割を継続的に確保できるよう配慮して行います。
- アーチ式の石積みが見える堰堤下流からの景観を保持するため、大源太湖側の堰堤上流部にコンクリートによる補強を行うとともに、堰堤内部の空洞を充填することで空洞部の補強と漏水対策を実施します。

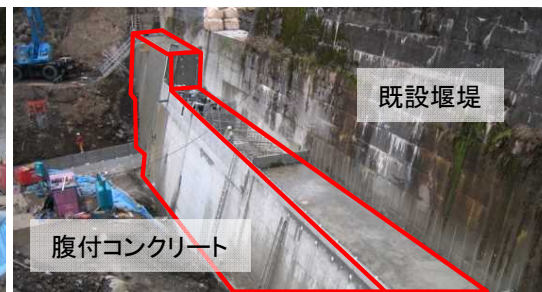
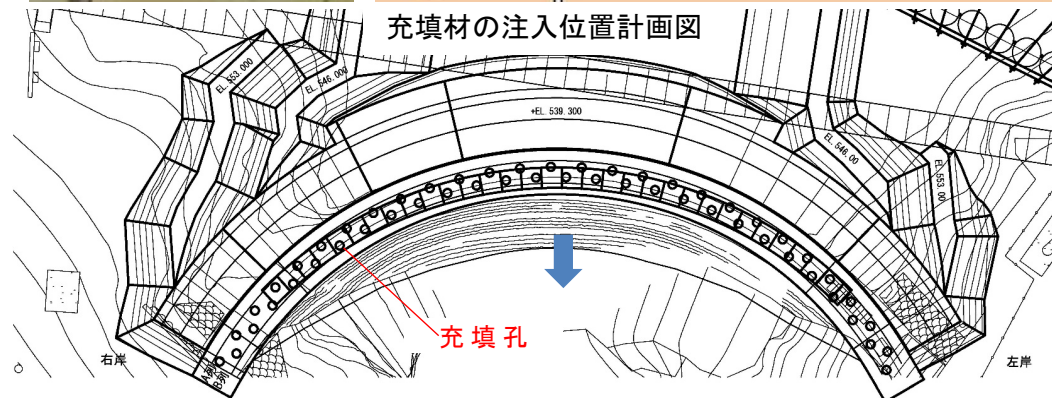
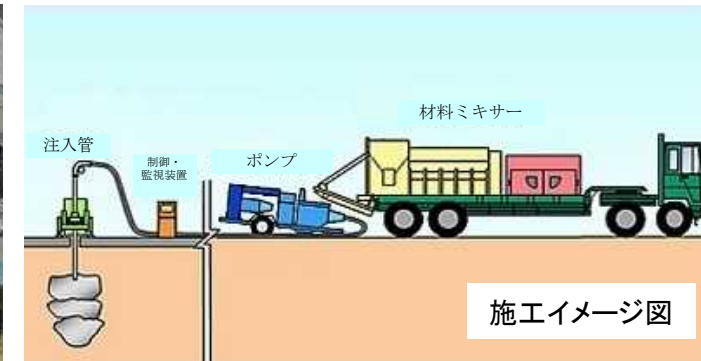
コンクリート堰堤工（上流側腹付コンクリート）

- 既設堰堤の上流面に天端幅3mのコンクリートを腹付けすることにより補強
- 上流面からの浸透水を防ぐとともに、既設堰堤を強化することにより、許容応力度以上の力が作用するのを防ぐ



充填材の注入工

- ボーリングマシンで堰堤天端から削孔し、ポンプで充填材を注入
- 堰堤内部に生じている空隙を充填することで、既設堰堤を補強する



注) 写真は下流側腹付コンクリート